



# 南海トラフ地震に備えましょう(住宅編)

南海トラフ地震は、静岡県から宮崎県の太平洋沿岸にかけてのプレート境界を震源域として、過去100年から200年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震で、今後30年以内で80%程度、50年以内は90%の確率で発生する(※)と言われています。

昨年、8月8日、宮崎県沖の日向灘でマグニチュード7.1の地震が発生し、運用開始後初めての「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が気象庁から発表され、1週間、危機感を持たれたことも記憶に新しいのではないのでしょうか。

いつ発生するかもわからない巨大地震に備え、日頃からできる対策を考えておきましょう。耐震診断や耐震改修など、様々な補助制度がございますので、お気軽にご相談ください。(広報こまつしま4月号参照)

また、地震による被害を最小限にするため、家具転倒防止対策等の支援を実施しており、相談員の派遣を無料で行っていますので、それぞれご家庭(お住まい)の状況に合った対策を、住宅の専門家に相談してみませんか。

※文部科学大臣を本部長とする地震調査研究推進本部の地震調査委員会は、毎年1月1日に日本周辺の海底や活断層で想定される地震の発生確率の見直しを行い、公表しています。

## 耐震工事例



合板貼り



金物取付



筋交いブレース

## 家具の固定や配置を見直してみませんか

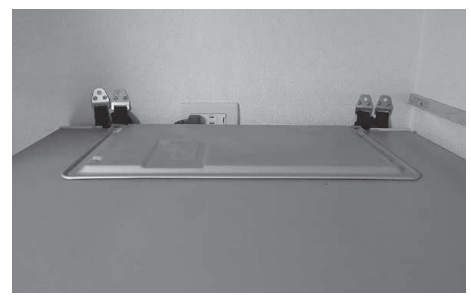
地震による負傷原因の多くは、家具類の転倒や落下によるものです。転倒、落下した家具につまづいたり、家具が倒れたときに割れた食器やガラスなどが負傷の原因となります。多くの方が犠牲になった阪神・淡路大震災では、発生時刻が不明であったこともあり、家屋の倒壊による窒息や圧死が死亡原因の大部分を占めたと言われています。

家具等の転倒防止対策としては、吊り下げ式照明器具の補強、額などの落下防止、家具を固定するポール式器具の設置、L型金具・チェーン式器具の取り付け、ストッパー式器具の差し込み、防災カーテンの取り付け、ガラス飛散防止フィルムの活用などがあります。各ご家庭の状況に応じて検討してみましょう。

また、地震の際、転倒が危惧される家具の高さ以上の距離を就寝する場所から取っておくなど、家具配置を工夫することも有効です。



家具固定



冷蔵庫固定

ピアノ固定



問  
||  
お問い合わせ先